

市道汐入豊岡線(潮風大通り)の無電柱化が実現しました!

市道汐入豊岡線(潮風大通り)電線共同溝整備事業は、潮鶴橋から主要地方道東京大師横浜までの 920 mについて電線共同溝を整備するものであり、これにあわせて、歩道の自転車通行帯の整備や植栽帯の再整備なども実施してきました。事業は平成 20 年度をもって完成し、安全で快適な歩行者空間の創出と災害に強い街づくりを実現しました



事業概要

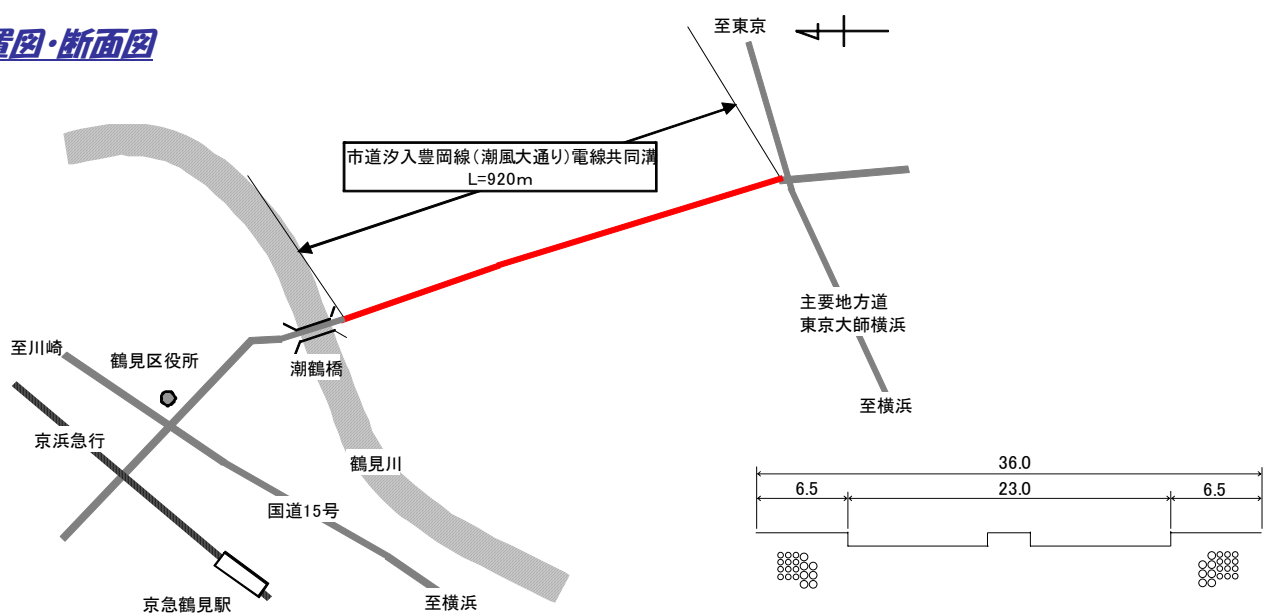
場所：鶴見区潮田町～汐入町、電線共同溝設置 920メートル×2(歩道両側)=1,840メートル

事業年度：平成 11～20 年度

発注者：横浜市道路局施設課

入溝企業者：東京電力(株)、東日本電信電話(株)、USEN(株)、キャンシステム(株)、YOUテレビ(株)ほか
※植栽帯の再整備は横浜市鶴見土木事務所が発注しました。

位置図・断面図





ポイント1 電柱、電線が無くなりました！

事業前



事業後



景観を美しく

地上にはりめぐらされた電線や林立する電柱がなくなり、美しい都市景観を形成します。

災害に強い！

地震や台風などの災害時に、電柱が倒れたり電線が切れたりするなどの危険がなくなります。また、倒れた電柱に道をふさがれることもないため、災害時における緊急車両の通行に支障がでることがなくなり、横浜市の防災対策に大きく貢献します。

情報化を支える

情報通信ネットワークの基盤となるケーブルが地中に埋設され、地震等の災害時における被害を軽減し、ネットワークの安全性・信頼性を向上させます。



ポイント2 自転車の走るところがわかりやすくなりました！

事業前



事業後



安全で快適な自転車利用

自転車走行空間を着色し、自転車と歩行者の空間を視覚的に分離することで、自転車と歩行者の安全性、快適性が向上します。